

デイサービスセンターゆいま〜る運営推進会議

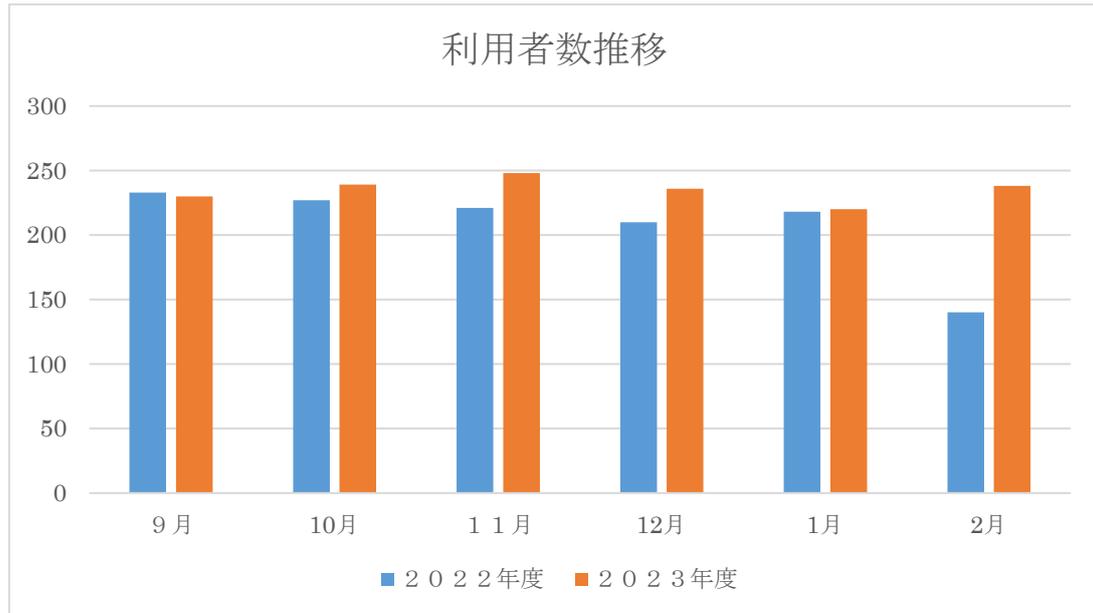
2024年3月12日(火) 11時00分~11時40分

出席者 Kさんご夫婦 米泉校下民生委員児童委員協議会会長

米泉地区社会福祉協議会会長 地域包括ありまつ担当者 池田 加納

1. ゆいま〜るからの活動報告

利用者数



最高齢 94歳 最若年 53歳 平均年齢 79.8歳 平均要介護度 2.8

契約者数 23名 うち若年性認知症と呼ばれる方が5名通われています。また能登から避難している方が1名利用されています。

送迎範囲 本多町 高尾 八日市 打木の範囲

現在利用されている方たちのご利用時間 7時50分から17時すぎ

スタッフ数 8名(正職員 4名 パート4名) 他 休職中1名

管理者1名 生活相談員1名 看介護職員6名 機能訓練指導員1名(管理者兼務)

生活相談員・介護職員5名は介護福祉士資格保有

他介護支援専門員保有者2名 看護師1名 准看護師1名

看介護職員の勤務年数 10年以上 4名 5~10年1名 0~3年未満 3名

2月…一日平均利用者数9.5人に対し、一日平均スタッフ数5.5人

2月の主な外出先

高松道の駅 吉岡園地 めぐみ白山 シェア金沢 あわら温泉 合掌造りの里
白山比咩神社 石川県立ふれあい昆虫館 石川県立図書館 本多博物館
金沢暮らしの博物館 など

地域活動(2023年9月～2024年2月)

講師派遣 金沢市オレンジパートナー育成研修
浅ノ川地区認知症サポーター養成講座
伏見台地区認知症サポーター養成講座

など

金沢 SDGs パートナー交流会「地域とどう関わるか」に参加しています。

事故 ヒヤリハット(2023年9月～2024年2月まで)

階段での膝折れ・膝つき 2件 積雪時の電柱への接触 1件
玄関脇のトイレ使用後にそのまま玄関から外に出た 1件
市への報告 0件

苦情

半日で帰っていた方の昼食代を誤って請求し、引き落とししてしまったため、苦情が寄せられました。謝罪し、すぐに返金させていただきました。

地震による建物等の被害

耐震工事をしていることもあってか、二階の土壁がこぶし大のものが一つ剥がれ落ちたり、二階の障子が二枚外れた程度で大きな損害はありませんでした。支援物資としてリハビリパンツ、パット類を金沢市の支援物資集積所に持っていきました。

防災対策

今回の震災で、あらためてBCP(事業継続計画)の重要性が認識できたことから、すでに策定済みとはいえ、あらためて、備品、災害時の連絡体制や安否確認の方法についてもしっかりと考えていきます。

能登から金沢の親族のところに一時的避難して来たり、移住してきた人の利用受け入れについても積極的に行っていきます。

感染対策

昨年の同時期は新型コロナウイルスのクラスターが発生し、利用者数も大きく落ち込んでいましたが、今年は日曜日を含めて2日半の休業はあったものの、大きな感染の広がりには防げています。インフルエンザについてはスタッフの子供が通う学校などでの感染の広がりはあるものの、事業所内での感染の広がりはありません。感染した場合に、特に高齢者は重度化の危険性があり、引き続き十分な感染対策を心がけていきます。またご本人・ご家族にもご協力を仰いでいきます。

地域活動

3月はアルビス畝田店、ウエルシア木曳野店、西金沢に開設予定の木下クリニックなどでの認知症サポーター養成講座に講師を派遣します。また引き続きオレンジカフェへの相談員や認知症サポーター養成講座の講師の派遣を行ない、地域における認知症の理解や情報の提供を行っていきます。伴走型支援事業についても積極的に協力していきます。またホームページやブログなどもこれまで同様活用していきます。

当面の課題

長く利用されている方たちは少しずつ身体機能も低下しており、その状況に合わせて、生き生きと過ごすことができるかかわりを考えていきたいと思います。また若年性認知症と呼ばれる人たちの割合が他事業所と比較して高いこともあり、年齢層に幅があることから、ニーズや活動量にも差があり、より個別性が高く、柔軟性のあるかかわりを提供できるようケアの質を高めていきたいと思います。

今回の震災をうけて、今日の日のかかわりの大切さ、時間の大切さを改めて強く感じる事となりました。これからも一日一日を大切にしながら、利用される方にとってもそれが大切な積み重ねとなるようなことを意識しながら、かかわり続けていきたいと考えています。

出席者より

K氏ご夫婦…病院にいた時にはお風呂に入れなかったので、今、デイでお風呂には入れることがありがたい。たくさんの人の中にいることが好きだったので、こういう場にいることで言葉も出てくる。デイサービスでたくさん話しかけてもらっているからか家に帰ってからも表情が豊かな気がする。

民生委員 **Hさん**…自分の家族も認知症だったので、ご家族の気持ちはわかる気がする。震災時の対応については、地区の方ではなくても、自宅に戻れない場合、当面はこの地区の避難所に避難することになる場合もある。防災訓練などにもぜひ参加してほしい。

地区社協 **Yさん**…建物の雰囲気がとてもいい。通う方たちも気持ちが落ち着くのではないかな。またいろいろなところに出かけているのも通う方たちにとっては楽しみとなるのではないかな。

地域包括 **Dさん**…若年性認知症の方も多く通っているが、これからも通い続けていける

よう取り組んでいってほしい。

ゆいま～るより…いろいろなご意見を賜りありがとうございます。自分が認知症になっても来たいと思えるような場所でありたいと思っています。いろいろなところに出かけ、いろいろなことと出会い、自分の力を認めてもらえるようなかかわりを作り出していきたいと願っています。どうぞこれからもよろしく願いいたします。